

搾乳前管理工程

3.4.5.2

機械室管理工程

3.4.5.7

搾乳管理工程

3.4.5.3

生乳処理室管理工程

3.4.5.8

搾乳後管理工程

3.4.5.4

生乳集荷管理工程

3.4.5.5

バルククーラー洗浄  
管理工程

3.4.5.6

作成者署名				
作成日	令和	年	月	日
改定日	令和	年	月	日
廃止日	令和	年	月	日
承認者署名				
承認者署名日	令和	年	月	日

3.4.5.2 (1)	管理代行者間での引継ぎ、ホワイトボードの引継ぎを確認する（特に病畜牛およびバケット搾乳牛）	3.4.5.2 (13)	全てのマルチグリップを外し、落下しないようにする
3.4.5.2 (2)	ミルカー洗浄が完了していることを確認（青色ランプ点灯）	3.4.5.2 (14)	バルククーラーへミルクホース接続（バルククーラー接続栓開放の際、きれいなタオルで拭き、パッキンの確認）
3.4.5.2 (3)	搾乳牛をホールディングエリアへ誘導	3.4.5.2 (15)	集荷後、初回投入の場合、バルククーラーの水抜き、バルブ位置の確認
3.4.5.2 (4)	搾乳牛飼料給与（作成）	3.4.5.2 (16)	集荷後、初回投入の場合、バルククーラーの冷却スイッチを押す
3.4.5.2 (5)	洗浄用の湯を樽にためる	3.4.5.2 (17)	全ての設置工程を最初から確認する（ポジティブリストに必要事項を記録）
3.4.5.2 (6)	チューブクランプ 2 か所締め、クリーニングバルブを開ける（水平に）	3.4.5.2 (18)	搾乳スイッチを押す（上から 2 番目）
3.4.5.2 (7)	ミルクフィルターを装着する（スプリングにはめて、内側に折り込む）	3.4.5.2 (19)	真空圧、空気の吸い込み、異音がないか確認
3.4.5.2 (8)	全てのミルカーユニットのモードを「WASH」から「MILKIN」に変更する（一番上のボタン押して、矢印長押しで変更）	3.4.5.2 (20)	搾乳開始
3.4.5.2 (9)	ミルカーを洗浄用ホルダーから外す（一本ずつ丁寧にすること）		
3.4.5.2 (10)	バケット搾乳がある場合、バケット用ミルカーも洗浄用ホルダーから外す		
3.4.5.2 (11)	ミルククローのシャットオフバルブをロック状態から開放する		
3.4.5.2 (12)	ミルククローをユニット本体の紐に固定（90°回転）		

作成者署名	
作成日	令和    年    月    日
改定日	令和    年    月    日
廃止日	令和    年    月    日
承認者署名	
承認者署名日	令和    年    月    日

- 3.4.5.3 (1) 病畜牛・バケット搾乳牛の確認、搾乳頭数の確認
- 3.4.5.3 (2) ミルカー・バケットミルカー・搾乳道具の準備
- 3.4.5.3 (3) ミルカーのマルチグリップをアブレストパーラーに接続し、「Y 0. 0」を確認する
- 3.4.5.3 (4) 「M M C o l d」の表示と赤ランプの点灯は問題なし
- 3.4.5.3 (5) アブレストパーラーの前のゲートを閉める
- 3.4.5.3 (6) パーラーに侵入した搾乳が病畜牛・バケット搾乳牛でないことを確認する
- 3.4.5.3 (7) 前搾りをする
- 3.4.5.3 (8) めるま湯（40°程度）につけたタオルで清拭する
- 3.4.5.3 (9) 殺菌液をしみこませたドライセルで清拭する
- 3.4.5.3 (10) インクリースで乾拭きする
- 3.4.5.3 (11) ミルクユニットの一番下のボタン「スタート」を押す
- 3.4.5.3 (12) 空気の吸い込みを確認し、ミルカーを装着する

- 3.4.5.3 (13) 自動離脱、搾乳終了後、ディッピング（乳頭の2／3以上）を行う
- 3.4.5.3 (14) 乳量を確認し、ミルクユニットの「確認」ボタンを長押しする
- 3.4.5.3 (15) 搾乳牛を開放（アブレストパーラー前のゲート、ロープ・後ろのチェーン）し、次の搾乳牛を誘導する
- 3.4.5.3 (16) バケット搾乳牛は最後に行う
- 3.4.5.3 (17) 全頭終了後、ミルカーのマルチグリップを外し、集乳処理室へ移動
- 3.4.5.3 (18) アブレストパーラーおよびホールディングエリアの清掃

作成者署名	
作成日	令和 年 月 日
改定日	令和 年 月 日
廃止日	令和 年 月 日
承認者署名	
承認者署名日	令和 年 月 日

- 3.4.5.4 (1) バルククーラーが正常に動いていることを確認
- 3.4.5.4 (2) ミルクジャー内の残乳を排出する（黄色いボタンを押す）  
残乳がなくなると音が変わるので停止
- 3.4.5.4 (3) 自動洗浄機の搾乳ボタン（上から 2 番目）を押す  
バケット用マルチグリップを差し込み、圧力を下げ、確認する
- 3.4.5.4 (4) バルククーラーに接続しているミルクホースを取り外す（生乳がこぼれないように注意）
- 3.4.5.4 (5) バルククーラー接続栓のパッキンを取り外し、洗浄する  
接続周辺部の残乳を確実に拭き取る（専用殺菌剤ドライセル）
- 3.4.5.4 (6) バルククーラー接続栓を閉める
- 3.4.5.4 (7) ミルクホースを洗浄回路に接続する
- 3.4.5.4 (8) ミルクジャー内に「ブツ・異物」がないか確認する  
何もなければそのまま、あれば「ブツ・異物」を取り除き、保存および報告
- 3.4.5.4 (9) チューブクランプ 2 か所を開放する
- 3.4.5.4 (10) クリーニングバルブを開放する（垂直に）
- 3.4.5.4 (11) ミルクフィルターを外し、周囲を洗う  
フィルターに異物があった場合は、保存および報告する
- 3.4.5.4 (12) ミルククローとユニット本体をつなぐ紐を外す（90°回転）

- 3.4.5.4 (13) ミルククローを粗洗浄・本洗浄を行い、シャットオフバルブをロック状態にして、マルチグリップをパイプラインに装着する
- 3.4.5.4 (14) バケット搾乳があった場合は、同様の要領で洗浄し、マルチグリップをパイプラインに装着する
- 3.4.5.4 (15) ミルカーを洗浄用ホルダーに接続する
- 3.4.5.4 (16) 全てのミルカーユニットのモードを「MILKIN」から「WASH」に変更する（メニュー「一番上のボタン」を押して、確定「矢印」を長押しで変更）
- 3.4.5.4 (17) 全ての設置工程を最初から確認する（ポジティブリストに必要事項を記載する）
- 3.4.5.4 (18) 自動洗浄機の洗浄スイッチを押す（上から 3 番目）を押す
- 3.4.5.4 (19) ミルカー・ミルククローに洗浄水が流入していること確認し、洗浄用ホルダーからの漏れがないことを確認
- 3.4.5.4 (20) ディッピング液を補充し、ティートディップピンを洗浄する  
ストリップカップを洗浄する
- 3.4.5.4 (21) その他使用した物品を洗浄し、清拭用タオルを洗濯する

作成者署名	
作成日	令和    年    月    日
改定日	令和    年    月    日
廃止日	令和    年    月    日
承認者署名	
承認者署名日	令和    年    月    日

- 3.4.5.5  
(1) 集乳業者到着
- 3.4.5.5  
(2) 集乳業者による乳質簡易検査、サンプリング、積算温度計の確認とリセット
- 3.4.5.5  
(3) バルククーラー乳に異常がある場合は、実務担当者より順次報告
- 3.4.5.5  
(4) 集荷可否について決定  
廃棄の場合はJA美幌、森永乳業に報告
- 3.4.5.5  
(5) 集荷業者は集荷を行い、出荷量を報告し、管理者は立ち会う
- 3.4.5.5  
(6) 集荷業者は必要事項を記載し、業務を終了する

作成者署名	
作成日	令和    年    月    日
改定日	令和    年    月    日
廃止日	令和    年    月    日
承認者署名	
承認者署名日	令和    年    月    日

- 3.4.5.6  
(1) バルククーラーの蓋を開けて、生乳が出荷されていることを確認する
- 3.4.5.6  
(2) バルククーラー株の生乳排出コックを開放する（レバーを左にひいて、手前に回す）
- 3.4.5.6  
(3) 洗浄用ホースを用いて、お湯でバルククーラー内を洗浄する  
専用のブラシ①②を用いて行う
- 3.4.5.6  
(4) 生乳排出口を専用ブラシ③で洗う
- 3.4.5.6  
(5) 生乳排出口コックを開放したまま、洗浄用キャップを装着する
- 3.4.5.6  
(6) 専用ブラシ①を用いてバルククーラー外部を洗浄する  
チェーンの付いたキャップも洗い、フックにかける
- 3.4.5.6  
(7) タイマーコントローラーの右上「1 / ○」ボタンを押す  
洗浄動作を確認する
- 3.4.5.6  
(8) 洗浄用ホース、専用のブラシを洗浄し、片付ける
- 3.4.5.6  
(9) タイマーコントローラーが正常に終了したか確認する
- 3.4.5.6  
(10) タイマーコントローラーの温度確認
- 3.4.5.6  
(11) 積算温度計にエラー表示がないことを確認する  
エラー表示がある場合は実務担当者へ報告する
- 3.4.5.6  
(12) 生乳排出口の洗浄キャップを外す  
残水を確実に抜くこと

- 3.4.5.6  
(13) 生乳排出口コックを閉鎖する
- 3.4.5.6  
(14) チェーンの付いたキャップ（黒）を装着する
- 3.4.5.6  
(15) 全ての行程を最初から確認する

作成者署名	
作成日	令和    年    月    日
改定日	令和    年    月    日
廃止日	令和    年    月    日
承認者署名	
承認者署名日	令和    年    月    日

3.4.5.7  
(1)

機械室の温度が高温となっていないか確認  
高温の場合は換気する

3.4.5.7  
(2)

電気ボイラーの異常がないか確認

3.4.5.7  
(3)

電気系統に異常がないか確認

3.4.5.7  
(4)

バキュームポンプに異常がないか確認  
バキュームポンプオイルを補充する

3.4.5.7  
(5)

バキュームポンプオイルが少ない場合は発注する

作成者署名	
作成日	令和    年    月    日
改定日	令和    年    月    日
廃止日	令和    年    月    日
承認者署名	
承認者署名日	令和    年    月    日

3.4.5.8  
(1)

必要物品が適切に場所に戻されているか確認

3.4.5.8  
(2)

消耗品がない場合は補充する

3.4.5.8  
(3)

搾乳および集乳に関わる関係記録簿が適切に記録管理されているか確認

3.4.5.8  
(4)

床面に汚れがなく、乾いている状態か確認

作成者署名	
作成日	令和    年    月    日
改定日	令和    年    月    日
廃止日	令和    年    月    日
承認者署名	
承認者署名日	令和    年    月    日